

課題になっている行動（気になる行動）

相手の
言っていることを
繰り返す

し

なるほど！

「うん、してね」
「うん、してね」



監修・文 水野敦之 絵：宗貞由貴子

環境・状況の要因	本人の特性	本人の経験や気づきの影響
<input type="checkbox"/> 様々な状況の変化 ■ 影響を与える刺激や情報 相手の言葉 ■ 必要な支援がない 本人が理解できる情報でつたえていない <input type="checkbox"/> その他 <hr/> ■ 行動前の状況※ 相手が言葉で指示をする	■ 受容コミュニケーション の特性： <u>相手が言っていること</u> の理解が難しい ■ 表出コミュニケーション の特性： <u>即時性反響言語</u> （相手の言っていることを繰り返す） ■ 関係理解（意味理解）・般化 の困難さ	<input type="checkbox"/> 習慣になっているものがある ■ 自分流の気づき・考え方をもち 相手が言っている言葉を言っていると 思っている <input type="checkbox"/> 過去に経験したこと学んだこと <input type="checkbox"/> 過去に経験したことにより恐怖や嫌悪感をもっていること <hr/> ■ 行動後の状況・結果※ 相手が繰り返し言葉で指示をする

活用できる他の資源	活用できる本人のスキル	活用できる本人の気づき
	絵、写真の理解	

支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります		
環境を変える部分は？	本人の特性にあわせた支援は？	本人に伝える・教える部分は？
・本人が理解できる情報で、時間や空間の見通しを提示する。 ・代替コミュニケーションを準備し活用する	・本人が理解できる絵や写真などの情報で伝える。	・各場面の表出コミュニケーション指導で、本人に言ってほしい内容でモデルを提示する（反響言語を活用する） ・本人の好んで使っている表出コミュニケーションのタイプから教える。 ・本人の好きなものから教える

解説と支援の方向性について

自閉症の人の中には、反響言語がある方がいます。反響言語は、以前聞いたコマースやニュースなどを繰り返す遅延反響言語と、その場で言われたことを繰り返す即時性反響言語があります。このエピソードは、即時性反響言語になります。特性は表出コミュニケーションの特性ですが、相手の言葉を理解しないで繰り返していますので、受容コミュニケーションの特性としても考えられます。